

安曇野市制施行 15 周年記念

友好都市と安曇野市の
あゆみ

15th

Anniversary
of Azumino City



安曇野市長
宮澤宗弘

ごあいさつ

安曇野市は、令和2年で市制施行15周年を迎えました。
当市は長野県旧南安曇郡の豊科町・穂高町・三郷村・堀金村と東筑摩郡の明科町の5町村が新設合併により誕生した市であり、旧町村の友好都市提携も全て新市へ継承いたしました。

合併以降、さらに1自治体と友好都市提携を結び、現在は国内7都市と友好（交流）都市に、海外1都市と姉妹都市となっております。

交流の経過や期間の長短はあれ、それぞれに特色を活かした交流が受け継がれ着実に友好関係が築かれております。これもひとえに友好（交流）都市の皆様のご理解とご支援によるものと、改めて感謝申し上げます。

これからも皆様との交流が末永く続き、これまで築いてきた友好の絆をさらに強固なものにして次代へ引き継いでいけるよう、取り組んで参ります。

結びに、各友好（交流）都市の益々のご発展と、住民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。



安曇野市議会議長
沼田義人

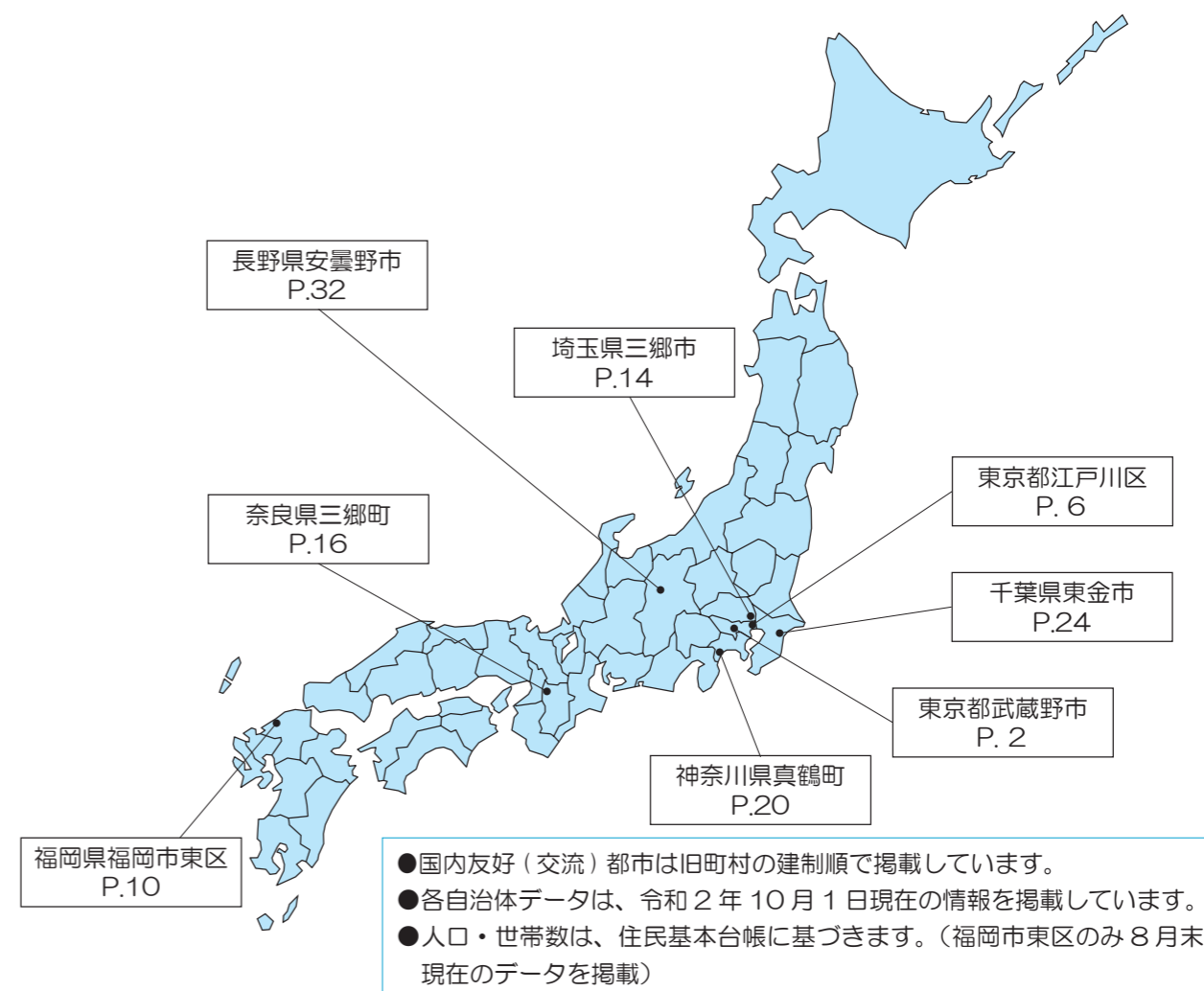
友好（交流）都市の皆様には、日頃、安曇野市との交流にあたり格段のご配慮とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

安曇野市が発足して15年、各都市の皆様とは、青少年や市民団体同士の交流やイベント等への参加など、さまざまな分野での交流が続いております。歴史・文化・地勢の異なる地域との交流は、特に若い世代にとって、新たな世界に触れ知見を深める貴重な機会となっております。

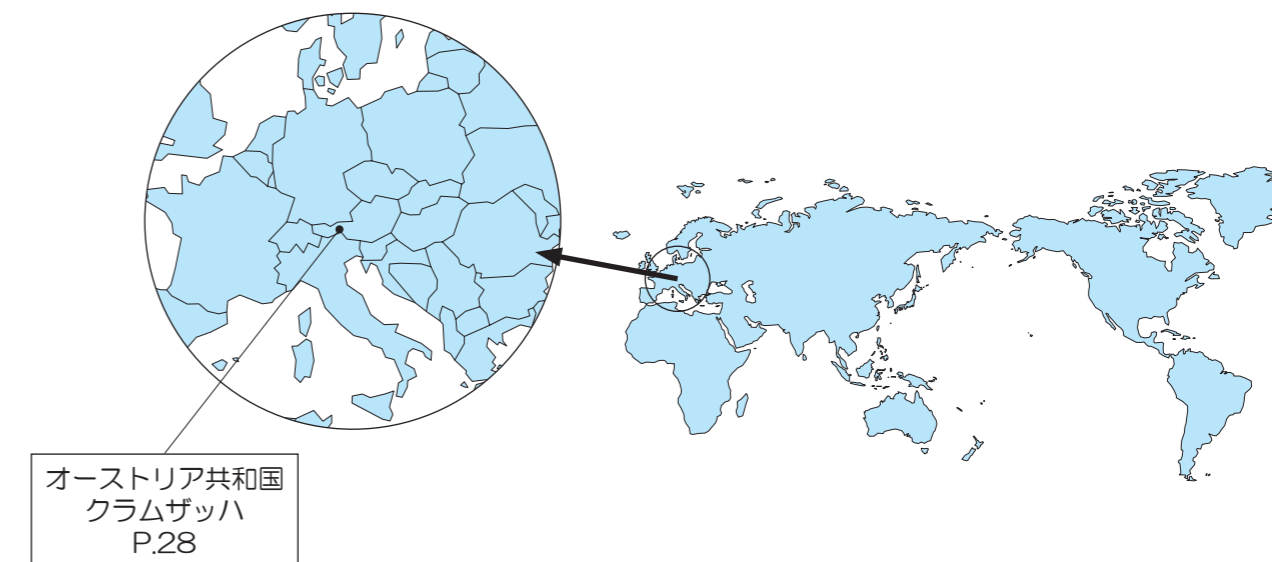
安曇野市議会でも、視察研修で友好（交流）都市を訪問する機会を頂いておりますが、地域課題に直面した際には、交流先の都市の取り組みや先進事例に学ぶことも多々あります。

今後とも、皆様と互いの長所を学びながら各都市の発展に寄与する交流事業が行われ、友好関係がより一層実り多きものとなることを願うとともに、これまで培ってきた友情が末永く続きますことを心より祈念申し上げます。

国内友好（交流）都市



海外姉妹都市



東京都 武蔵野市

武蔵野市は東京都のほぼ中央に位置し、昭和 22 年、特別区に隣接する郊外住宅都市としてスタートしました。市民自治や成熟した文化、高い環境意識などが反映されたまちづくりを展開しており、市民参加と数々の先進的な施策は注目を集めています。

また、市域のあちこちに緑の空間を見つけることができるのが武蔵野市の特徴です。

■自治体データ■



松下 玲子 市長

市長 松下 玲子
副市長 笹井 肇
 恩田 秀樹
教育長 竹内 道則
議長 小美濃 安弘
副議長 川名 ゆうじ

人口 147,677 人（令和 2 年 10 月 1 日現在）
世帯 77,932 世帯（令和 2 年 10 月 1 日現在）
面積 10.98km²

市民の花

ハギ、ムラサキ、ムラサキハナナ、ツツジ、ジンチョウゲ、スイセン、フヨウ、アサガオ、キク

市民の木

コブシ、ケヤキ、ハナミズキ

■武蔵野市とのご縁■

武蔵野市と安曇野市との交流は、当時の武蔵野市助役が豊科町（現安曇野市）出身というご縁から始まりました。昭和59年、豊科町長が武蔵野市を訪問し、口頭で姉妹都市提携を申し入れたことから交流が加速し、昭和 62 年に姉妹都市盟約を結ぶまでの間にも数多くの市民交流事業が行われてきました。



武蔵野市 桜並木

■調印等の経緯■

- ・昭和 62 年 11 月 3 日
姉妹都市盟約（旧豊科町）
- ・平成 8 年 7 月 27 日
災害相互援助協定（旧豊科町）
- ・平成 18 年 4 月 2 日
災害相互援助協定（安曇野市）
- ・平成 19 年 2 月 5 日
友好都市提携（安曇野市）

■現在の交流■

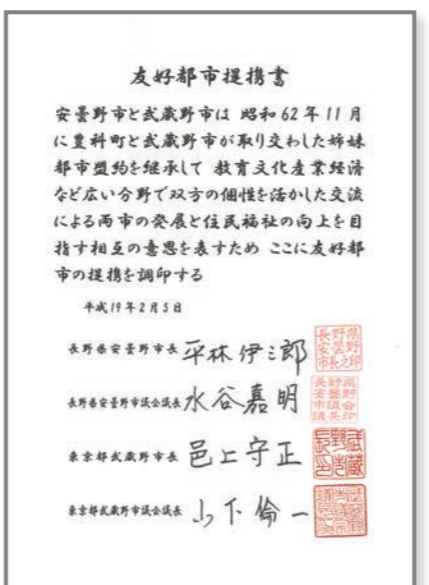
- ・武蔵野桜まつり
- ・むさしの青空市
- ・あづみ野祭り
- ・玉ねぎツアー、安曇野出前寄席
- ・市民交流ツアー
- ・武蔵野市中学校セカンドスクール
- ・少年サッカー
- ・壮年ソフトボール
- ・武蔵野市交流市町村協議会
- ・武蔵野市アンテナショップ「麦わら帽子」での特産品販売
- ・信州安曇野ハーフマラソン



吉祥寺駅北口駅前広場 ソウのはな子の銅像

Musashino City

昭和 59 年 (1984)	5 月	・ 笠原貞行豊科町長（当時）が武蔵野市を訪問し、姉妹都市提携を口頭で申し入れ
	8 月	・ 土屋正忠武蔵野市長（当時）らが初めて来訪し、第 5 回あづみ野祭りに参加（以降、恒例となる）
昭和 60 年 (1985)	2 月	・ 豊科町芸術文化協会が武蔵野市を訪問し、親善交流
	8 月	・ 武蔵野市美術センターの小中学生が来訪し、文化交流
昭和 61 年 (1986)	11 月	・ 笠原豊科町長（当時）らが第 6 回むさしの青空市に参加 このほかこの年には、子どもたちの相互訪問によるスポーツ交流、芸術交流などを実施
昭和 62 年 (1987)	3 月	・ 武蔵野市民がお座敷列車で来訪
	7 月	・ 笠原豊科町長（当時）が武蔵野市を訪問し、文書で姉妹都市提携を依頼
	8 月	・ 武蔵野市中学生が野外学習のため来訪
	9 月	・ 井上文三武蔵野市助役（当時）が来訪し、姉妹都市盟約の応諾書拝受
	11 月	・ 姉妹都市盟約調印（武蔵野市制施行 40 周年記念式典にて） ・ 調印を記念し、広報とよしな特集号の発行、「武蔵野市への芸術文化の旅」（以降、恒例となる）、豊科町役場前に武蔵野市民の木ハナミズキの記念植樹・記念石標設置
昭和 63 年 (1988)	2 月	・ 姉妹都市提携後初の交流事業として、豊科町老人クラブが武蔵野市老人クラブ連合会の芸術文化祭に参加
	4 月	・ 武蔵野市民が「ミステリー列車 6 3 ・ 4 ・ 5（ムサシゴー）」で来訪 ・ 豊科町郷土博物館で姉妹都市記念写真展を開催（4 月 28 日～5 月 10 日）
	5 月	・ 武蔵野市婦人団体協議会 40 名が来訪
	7 月	・ 第 30 回武蔵野まつりに笠原豊科町長（当時）、豊科町観光協会が参加
	8 月	・ 武蔵野市民 70 名が来訪するも第 9 回あづみ野祭り中止のため行程変更
	9 月	・ 長野自動車道豊科 I C 開通を記念し、豊科公民館にて結城座と武蔵野シティバレエが親善公演
平成元年 (1989)	2 月	・ 第 5 回婦人のつどい（豊科町）で土屋武蔵野市長（当時）が講演
	8 月	・ 民間団体による、初のソフトボール親睦試合を豊科町の隣、穂高町のグラウンドで開催（以降、双方開催により恒例となる）
平成 2 年 (1990)	10 月	・ 武蔵野市民が来訪し、ゲートボールで交流 このほかこの年には、武蔵野市民ツアー（わさびの花摘み、常念岳登山、野沢菜漬体験など）を実施（以降、恒例となる）
平成 3 年 (1991)	8 月	・ 武蔵野市交流市町村協議会発足
	9 月	・ 武蔵野市民常念岳登山が台風接近のため中止
平成 4 年 (1992)	4 月	・ 第 2 回武蔵野市交流市町村協議会（武蔵野サミット）を豊科町で開催 ・ 豊科町立近代美術館オープニングセレモニーに土屋武蔵野市長（当時）ら武蔵野サミット関係者が参列
	12 月	・ 姉妹都市盟約 5 周年記念式典を豊科町で開催 ・ 姉妹都市盟約 5 周年を記念して武蔵野市のご厚意で「武蔵野の小径」を豊科近代美術館前庭に整備



平成 19 年友好都市提携書



昭和 62 年姉妹都市盟約調印式



平成 4 年姉妹都市盟約 5 周年記念式典



平成 4 年あづみ野祭り



平成 4 年武蔵野の小径

平成 6 年 (1994)	4 月	・ 第 2 回武蔵野桜まつりに豊科町から参加
	8 月	・ 濁水に悩む武蔵野市の友好都市・広島県大崎町（現大崎上島町）へ水支援
平成 7 年 (1995)	2 月	・ 水谷太一豊科町長（当時）初登庁時に松原圭甫武蔵野市助役（当時）から花束をいただく
	7 月	・ 武蔵野市中学校セカンドスクール試行のため武蔵野市中学生が来訪
	8 月	・ 土屋武蔵野市長（当時）が再任挨拶のため来訪
平成 8 年 (1996)	7 月	・ 災害相互援助協定締結 この年、武蔵野市交流市町村協議会による「ふるさと美しくモデル事業」で「白鳥湖一帯」整備事業を実施
平成 9 年 (1997)	6 月	・ 武蔵野市中学校セカンドスクールを豊科町で初開催（以降、恒例となる）
	11 月	・ 姉妹都市盟約 10 周年記念祝賀会を武蔵野市で開催 このほかこの年には、姉妹都市盟約 10 周年事業（豊科近代美術館特別展、広報とよしな特集記事、参加体験型アートイベント）を実施
平成 10 年 (1998)	4 月	・ 武蔵野市のご厚意で「武蔵野の小径」にケヤキ、クヌギ、コナラなど 11 本を植樹
平成 11 年 (1999)	7 月	・ 武蔵野市の友好都市・アメリカテキサス州ラボック市の中学生が来訪し、豊科北中学生と交流
平成 13 年 (2001)	10 月	・ 武蔵野市にアンテナショップ「麦わら帽子」がオープンし、友好都市の特産品販売が始まる
平成 16 年 (2004)	1 月	・ 豊科町で武蔵野市との交流事業への助成金制度開始
	6 月	・ ラボック市ジュニア大使 16 名が来訪し、豊科北中学生 11 名と交流 ・ アンテナショップ「麦わら帽子」で消費者と豊科町内直売所関係者が交流
	10 月	・ 新潟県中越地震で被災地した武蔵野市の友好都市・新潟県刈羽郡小国町（現長岡市）へ支援物資を届ける この年、武蔵野市交流市町村協議会による「ふるさと美しくモデル事業」で「わさび田親水広場」整備事業を実施
平成 17 年 (2005)	9 月	・ 豊科町閉町式に古田士一雄武蔵野市助役（当時）、山下倫一武蔵野市議会議員（当時）が出席
	11 月	・ 平林伊三郎安曇野市長（当時）が武蔵野市を訪問
平成 18 年 (2006)	4 月	・ 災害相互援助協定締結（安曇野市として再締結）
平成 19 年 (2007)	2 月	・ 友好都市提携調印式（安曇野市として再締結）
平成 22 年 (2010)		この年、武蔵野市交流市町村協議会による「ふるさと美しくモデル事業」で安曇野山麓ウォーキングコース整備事業を実施
平成 23 年 (2011)	7 月	・ 第 21 回武蔵野市交流市町村協議会（武蔵野サミット）にて安曇野市サミット宣言（災害時相互支援について）承認 この年、東日本大震災の後方支援拠点であった武蔵野市の友好都市・岩手県遠野市に支援物資を 2 回届けたほか、宮澤宗弘安曇野市長が義援金を届けた
平成 29 年 (2017)	11 月	・ 武蔵野市制施行 70 周年記念式典に宮澤安曇野市長、小松洋一郎安曇野市議会議員（当時）が出席
平成 30 年 (2018)	7 月	・ 第 39 回あづみ野祭りが台風接近のため中止
令和 2 年 (2020)		新型コロナウイルスにより各種事業中止（2 月武蔵野市民交流ツアー、4 月武蔵野桜まつり、7 月あづみ野祭り、10 月武蔵野市交流市町村協議会（職員研修）、11 月むさしの青空市） この年、武蔵野市交流市町村協議会による「ふるさと美しくモデル事業」で「水色の時道祖神」周辺再整備事業を実施



平成 8 年災害相互援助協定締結



平成 9 年武蔵野市への芸術文化の旅



平成 18 年災害相互援助協定締結



平成 31 年アンテナショップ「麦わら帽子」で売り子体験



令和元年あづみ野祭り

東京都 江戸川区

江戸川区は東京都内で唯一、海に面した広大な自然公園を有しており、同エリアは東京 2020 オリンピックのカヌー・スラローム会場にもなりました。

江戸川、荒川といった関東屈指の大河川に囲まれた水と緑の恵み豊かなまちでは、下町らしさを楽しめるエリア、自然や歴史と親しめるエリアなど、エリアごとに異なる雰囲気を楽しむことができます。

また、日本の歴史や文化を今に伝える伝統工芸品が数多くあり、特産の小松菜は全国有数の産地です。

■自治体データ■



斉藤 猛 区長

区 長 齊藤 猛
副区長 山本 敏彦
 新村 義彦
教育長 千葉 孝
議 長 田中 寿一
副議長 関根 麻美子

人 口 697,026人（令和2年10月1日現在）
世 帯 346,894世帯（令和2年10月1日現在）
面 積 49.09km²
区の花 ツツジ
区の木 クスノキ

■江戸川区とのご縁■

江戸川区と安曇野市との交流は、区民の保養施設用地を探していた江戸川区に当時の穂高町が旧有明小学校跡地を譲渡したことから始まりました。昭和51年6月には同地に、江戸川区立「穂高荘」がオープンし、相互訪問による交流事業が行われてきました。



江戸川区花火大会

■調印等の経緯■

- ・昭和49年2月15日
友好都市宣言（旧穂高町）
- ・平成19年8月4日
友好都市提携（安曇野市）

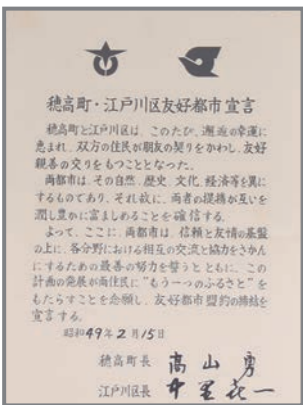
■現在の交流■

- ・江戸川区花火大会
- ・江戸川区民まつり
- ・交流囲碁対局
- ・関東中学生江戸川区招待卓球大会
- ・江戸川区、安曇野市穂高地域双方の地元子ども会の交流
- ・信州安曇野ハーフマラソン
- ・新そばと食の感謝祭



新川千本桜

Edogawa ward



昭和49年友好都市宣言書



平成19年友好都市提携書



昭和49年友好都市宣言署名



平成9年少年サッカー交流



平成16年友好都市盟約30周年



平成23年多田江戸川区長(当時)安曇野市来訪



平成25年江戸川区民まつり



平成26年江戸川区連合町会連絡協議会来訪



平成27年友好都市盟約40周年記念植樹

昭和48年 (1973)	11月	・旧有明小学校跡地について江戸川区と売買契約締結
昭和49年 (1974)	2月	・友好都市宣言に署名
	6月	・穂高町特産品を集めた「ふるさとの味」第1便が江戸川区民に届く
	7月	・江戸川区役所職員が大天荘山小屋業務の応援(7月20日から8月19日)
	8月	・初の一般区町民による交流(江戸川区小岩地区婦人連盟が来訪)
	10月	・江戸川区第7回秋の植樹祭に高山勇穂高町長(当時)が招かれ、県木シラカバを寄贈し記念植樹、併せて行われた区立瀬戸公園開園記念式典では、ゴヨウマツ2本・アララギ5本を寄贈
	11月	・江戸川区秋の環境浄化月間に穂高町職員5名が招かれる
昭和51年 (1976)	6月	・江戸川区立穂高荘オープン
昭和52年 (1977)	4月	・江戸川区と穂高荘を結ぶバス「穂高号」がスタート
昭和53年 (1978)	10月	・第1回江戸川区民まつり参加(以降、恒例となる)
昭和56年 (1981)	春	・第1回穂高・瑞江少年少女交歓会(以降、恒例となる)
	10月	・江戸川区ママさんバレーボールチームが来訪し、穂高町家庭婦人バレーボール協会と交流試合
昭和57年 (1982)	8月	・江戸川区花火大会に穂高町の親子を招待いただく(以降、恒例となる)
昭和60年 (1985)	10月	・第8回江戸川区民まつりが雨天中止となるが、穂高町の特産品を特別販売
	冬	・江戸川区在住87歳(当時)女性が手編みのベスト78着を穂高町に寄贈
昭和62年 (1987)	8月	・江戸川区民の要望により穂高荘新館の増築工事決定、起工式
	10月	・中里喜一江戸川区長(当時)を通じて、中央区が区木であるヤナギ並木を復活させたいとの話があり、中央区へ100本のヤナギの苗木を寄贈
昭和63年 (1988)	7月	・穂高荘新館オープン、穂高号2台運行に
	10月	・第11回江戸川区民まつり 天皇陛下ご不例により中止
平成3年 (1991)	6月	・穂高荘が15周年を迎え、えどがわ区民ニュースで特集される
	10月	・第14回江戸川区民まつり 異常な長雨により中止
平成7年 (1995)	4月	・穂高荘の利用者50万人を突破
平成9年 (1997)	8月	・江戸川区少年サッカーチームが来訪し、町内及び近隣町村チームと交流試合

平成11年 (1999)	7月	・多田正見江戸川区長(当時)が穂高町を表敬訪問
	11月	・穂高町から友好都市締結時の江戸川区長であった中里喜一氏へ特別自治功労賞を贈る
平成13年 (2001)	2月	・江戸川元区長の中里氏追悼の会で平林伊三郎穂高町長(当時)が追悼の言葉をのべる
	11月	・江戸川区行船公園でヤナギの植樹祭(昭和62年に穂高町から中央区へ寄贈したヤナギを挿し木栽培したヤナギと穂高町の木シャクナゲを植樹)
平成16年 (2004)	4月	・友好都市盟約30周年記念事業(江戸川区総合文化センター前の広場にソメイヨシノを記念植樹)
平成19年 (2007)	3月	・関東中学生江戸川区招待卓球大会へ安曇野市の中学生も招待いただく
	8月	・友好都市提携書署名式(安曇野市として再締結)
平成22年 (2010)	10月	・第33回江戸川区民まつり 雨天により中止
平成23年 (2011)	6月	・多田江戸川区長(当時)が4期目就任挨拶のため、宮澤宗弘安曇野市長を表敬訪問し、災害時の対応などについて意見交換
平成26年 (2014)	8月	・友好都市盟約40周年記念式典が江戸川区内ホテルで開催され、宮澤安曇野市長、望月正勝安曇野市教育長(当時)平林徳子安曇野市議会副議長(当時)ら議員8名が参加
	9月	・江戸川区連合町会連絡協議会が来訪
平成27年 (2015)	3月	・友好都市盟約40周年を記念して江戸川区総合文化センター前の広場にケヤキを記念植樹
平成29年 (2017)	3月	・第1回江戸川区・安曇野市交流囲碁対局(以降、恒例となる)
	9月	・江戸川区グリーンパレスで特産品を販売
	11月	・安曇野市がオーストリアのホストタウンであることを機に来訪していたオーストリアカヌー連盟会長が多田江戸川区長(当時)を表敬訪問
平成30年 (2018)	10月	・江戸川区内ショッピングセンターで友好都市パネル展を初開催
平成31年 令和元年 (2019)	春	・江戸川区内施設で安曇野市美術館PR展示を実施(4月2日~6月17日)
	7月	・斉藤猛江戸川区長が就任後初めて来訪
	8月	・カヌー・スラロームシンポジウム2019 in 江戸川区に宮澤安曇野市長ら参加
	10月	・第42回江戸川区民まつり 台風接近のため中止
	11月	・江戸川区議会が視察のため来訪
		このほか穂高荘の松枯れ対策が縁となり、江戸川区と安曇野市で木材活用コラボ企画を実施
令和2年 (2020)	5月	・江戸川区共育プラザ中央に安曇野産カラマツを使用したカウンターを設置
		新型コロナウイルスにより各種事業中止(3月第4回江戸川区・安曇野市交流囲碁対局、10月第43回江戸川区民まつり・第45回江戸川区花火大会)



平成29年 関東中学生江戸川区招待卓球大会



平成28年江戸川区花火大会



平成29年交流囲碁対局



令和元年江戸川区花火大会

福岡県 福岡市東区

福岡市東区は福岡市の東部に位置し、同市にある7区のうち最多の人口を有し、多々良川の清流、立花山・三日月山、玄海国定公園の景勝地である海の中道など豊かな自然に恵まれているほか、「漢委奴国王」の金印が発見された志賀島や万葉集に歌われた場所など、歴史的话题が豊富です。

また、港湾開発が進む沿岸部には、陸上及び海上輸送の大規模流通施設が整備され、九州の物流拠点になっています。

■自治体データ■



高島 宗一郎 市長



谷口 恭二 区長

人口 304,850人(令和2年8月末日現在)
世帯 150,804世帯(令和2年8月末日現在)
面積 69.45km²
区の花 ナデシコ、ヒマワリ、コスモス

■福岡市東区とのご縁■

福岡市東区と安曇野市との交流は、平成元年に福岡市で開催されたアジア太平洋博覧会(よかトピア)のテーマ「新しい世界のであいを求めて」にちなみ、東区では古代海洋民「あづみ族」が移住したと伝えられる安曇野地方との交流の復活を目指し、当時の穂高町に協力を求めたことから始まりました。

■調印等の経緯■

- ・平成6年11月3日
友好交流推進協定(旧穂高町)
- ・平成29年2月1日
友好交流推進協定(安曇野市)

■現在の交流■

- ・「博多どんたく港まつり」市民ツアー
- ・青少年交流事業
- ・福岡市東区自治組織会長会による安曇野市視察



勝馬の夕日と金印太鼓(青少年交流にて)



志賀島金印公園

Fukuoka Higashi ward



平成6年友好交流推進協定書



平成29年友好交流推進協定書



平成5年青少年交流歓迎式 (in 福岡)



平成5年青少年交流 (in 福岡)

- 昭和63年 (1988) ・アジア太平洋博覧会(よかトピア)の準備のため、福岡市東区が同じ「あづみ族」のルーツを持つ穂高町に協力を求める
- 平成元年 (1989) ・福岡市制施行100周年を記念し交流を始め、アジア太平洋博覧会(よかトピア)「東区の日」に丸山高義穂高町長(当時)が博覧会訪問
- 平成3年 (1991) 8月 ・初の青少年交流で東区の子どもたちが来訪(隔年で相互訪問を行い、以降、恒例となる)
- 平成6年 (1994) 7月 ・松本空港ジェット化、1番機により榎橋貞雄東区長(当時)ら7名が来訪
11月 ・友好交流推進協定調印(穂高町合併40周年記念式典にて)
- 平成9年 (1997) 10月 ・福岡市東区老人クラブ連合会が来訪し、穂高町老人クラブ連合会と親善交流
- 平成12年 (2000) 8月 ・青少年交流が10年目を迎えたことから松永徳寿東区長(当時)が来訪
- 平成17年 (2005) 5月 ・福岡市東区へ福岡県西方沖地震の義援金を贈る
10月 ・第22回全国都市緑化ふくおかフェア(アイランド花どんたく)「東区の日」に友好都市として参加し、安曇野市のPRを行う
- 平成22年 (2010) 7月 ・青少年交流が20年目を迎える(20年間で約750人の子どもたちが交流)
- 平成23年 (2011) 9月 ・高島宗一郎福岡市長が宮澤宗弘安曇野市長を表敬訪問
- 平成24年 (2012) 5月 ・高島福岡市長から招待いただき、初の「博多どんたく港まつり」市民ツアー開催(以降、恒例となる)
- 平成28年 (2016) 6月 ・「なみきスクエア」オープンイベントに物販等出展
- 平成29年 (2017) 2月 ・友好交流推進協定締結(安曇野市として再締結)
11月 ・福岡市東区自治組織会長会が来訪し、安曇野市市長会と交流
- 令和元年 (2019) 6月 ・山方浩東区長(当時)が第36回全国都市緑化信州フェア(信州花フェスタ2019)の視察のため来訪
9月 ・福岡市東区自治組織会長会が来訪
このほか、東区広報にて「りんごの木オーナー制度」の案内
- 令和2年 (2020) 5月 ・「博多どんたく港まつり」及び市民ツアー 新型コロナウイルスにより中止
夏 ・安曇野市が東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンのため青少年交流の開催を見送る



平成6年松本空港ジェット化 榎橋区長(当時)来訪



平成17年福岡県西方沖地震義援金



平成23年高島福岡市長初来訪



平成7年青少年交流 (in 福岡)



平成8年青少年交流 (in 穂高)



平成9年福岡市東区老人クラブ連合会来訪



平成22年青少年交流 (in 安曇野)



平成23年青少年交流 (in 福岡)



平成24年青少年交流 (in 安曇野)



平成26年青少年交流 (in 安曇野)



平成24年博多どんたく港まつりパレード



令和元年博多どんたく港まつりパレード



令和元年福岡市東区自治組織会長会来訪

埼玉県 三郷市

三郷市は、都心からわずか 20 km、埼玉県の東南端に位置し、交通利便性の高さや充実した子育て環境など、魅力あふれるまちとして、近年人口が増加しています。

昭和 47 年の市制施行以来、著しく都市化が進んでおり、鉄道や道路などの交通網の整備、大型ショッピングモールの充実など都市基盤整備が進む一方、豊かな自然に恵まれ四季を楽しむこともできます。

■自治体データ■



木津 雅晟 市長

市長	木津	雅晟
副市長	石出	弘
	吉木	務
教育長	有田	るみ子
議長	菊名	裕
副議長	村上	香代子

人口 142,837 人（令和 2 年 10 月 1 日現在）
世帯 65,717 世帯（令和 2 年 10 月 1 日現在）
面積 30.22km²
市の花 サツキ
市の木 シイノキ

■三郷市とご縁■

三郷市と安曇野市との交流は、当時の三郷村において「三郷」という同じ自治体名が縁で始まりました。友好都市締結以前から少年野球や三郷市の商工まつりでのリンゴの販売などの交流が行われてきました。

昭和 62 年 5 月に埼玉県三郷市、奈良県三郷町と長野県三郷村で「三郷友好都市交流推進協議会」を組織し、以来、3自治体で交流を続けています。

■調印等の経緯■

- ・昭和 59 年 9 月 22 日
友好都市締結（旧三郷村）
- ・平成 8 年 7 月 22 日
災害時相互応援協定（旧三郷村）
- ・平成 18 年 7 月 1 日
友好都市締結及び災害時相互応援協定（安曇野市）

■現在の交流■

- ・三郷市産業フェスタ
- ・少年サッカー交歓会
- ・住民ふれあい事業
- ・三郷サミット
- ・信州安曇野ハーフマラソン
- ・新そばと食の感謝祭



江戸川サイクリングロード



におどり公園

Misato City

奈良県 三郷町

三郷町は奈良県の北西部、生駒郡の南西部に位置し、大阪とも交通の便が良い場所にあります。

金剛生駒紀泉国定公園の美しい自然環境に恵まれ、信貴山を中心に四季折々の自然が訪れる人の目を楽しませてくれる自然豊かなまちです。

また、日本に現存する最古の和歌集である「万葉集」には三郷町に関連すると思われる歌が多数あります。

■自治体データ■



森 宏範 町長

町長 森 宏範
副町長 池田 朝博
教育長 大西 孝浩
議長 伊藤 勇二
副議長 神崎 静代

人口 22,933人（令和2年10月1日現在）
世帯 10,609世帯（令和2年10月1日現在）
面積 8.79km²
町の花 ヒマワリ
町の木 モミジ

■三郷町とのご縁■

三郷町と安曇野市との交流は、「埼玉県三郷市と長野県三郷村が交流しているので、せっかくなら奈良県三郷町も……」という1通の手紙が当時の三郷村民から届いたことから始まりました。

昭和62年5月に埼玉県三郷市、奈良県三郷町と長野県三郷村で「三郷友好都市交流推進協議会」を組織し、以来、3自治体で交流を続けています。

■調印等の経緯■

- ・昭和61年10月18日 友好都市締結（旧三郷村）
- ・平成8年7月22日 災害時相互応援協定（旧三郷村）
- ・平成18年7月1日 友好都市締結及び災害時相互応援協定（安曇野市）

■現在の交流■

- ・三郷町民文化祭
- ・住民ふれあい事業
- ・三郷サミット
- ・信州安曇野ハーフマラソン
- ・新そばと食の感謝祭



空から見た三郷町 西に信貴山を望む

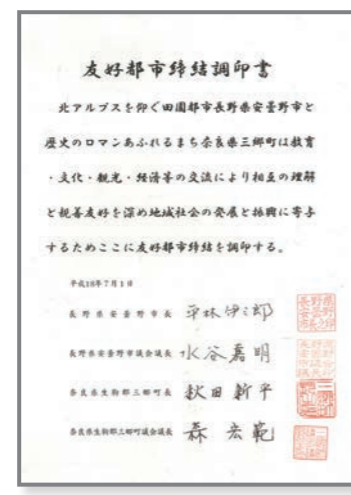


信貴山下駅前 ケーブルカー

Sango Town



平成 18 年友好都市締結調印書 (三郷市)



平成 18 年友好都市締結調印書 (三郷町)



昭和 59 年三郷市・三郷村友好都市提携



平成元年三郷村中学生が三郷町にホームステイ

- 昭和 55 年 (1980) この年、映画「ええじゃないか」の撮影が三郷市内で行われ、三郷村出身の俳優が同映画に出演

- 昭和 56 年 (1981)
 - 11 月 ・白石敏夫三郷市長（当時）らが三郷村来訪
 - 12 月 ・三郷市の第 5 回農業祭で三郷村のリンゴを販売（以降、恒例となる）

- 昭和 57 年 (1982)
 - 8 月 ・三郷市シニアリーグチームが三郷村を訪れ、野球親善試合（以降、恒例となる）

- 昭和 59 年 (1984)
 - 5 月 ・小林平一三郷村長（当時）から木津三郎三郷市長（当時）宛てに「友好都市提携について」の手紙を送る
 - 7 月 ・三郷村議会が視察のため三郷市訪問
 - 9 月 ・三郷市と友好都市提携調印（三郷村合併 30 周年記念式典にて）

- 昭和 60 年 (1985)
 - 3 月 ・三郷市からシノキが贈られ、三郷村役場庁舎前に植樹
 - ・三郷村から三郷市にリンゴの木を贈り、三郷市役所庁舎東側に植樹

この年に届いた 1 通の手紙をきっかけに、三郷町を含む 3 市町村での交流を調整

- 昭和 61 年 (1986)
 - 3 月 ・三郷市、三郷村の少年サッカー交歓会を三郷市で開催（同年 8 月には三郷村で開催、以降、恒例となる）
 - 5 月 ・三郷町から友好都市提携依頼の文書が届く
 - 10 月 ・三郷町が三郷市・三郷村それぞれと友好都市締結（三郷町制施行 20 周年記念式典にて）

- 昭和 62 年 (1987)
 - 5 月 ・3 市町村で「三郷友好都市交流推進協議会」発足（初代会長：木津三郎三郷市長（当時））
 - 8 月 ・三郷市と三郷村のバレーボール親善試合を三郷市で開催
 - 10 月 ・三郷町民文化祭で三郷村のリンゴを販売（以降、恒例となる）

- 平成元年 (1989)
 - 8 月 ・三郷村の中学生が三郷町にホームステイ

- 平成 2 年 (1990)
 - 8 月 ・三郷町と三郷村中学生による友好交流会を三郷村で開催

- 平成 3 年 (1991)
 - 7 月 ・三郷町・三郷村スポーツ交流（三郷村で開催し、平成 7 年まで相互開催）



平成 4 年三郷町・三郷村スポーツ交流



平成 5 年三郷市農業祭リンゴ販売



平成 7 年三郷町自治会役員三郷村来訪



平成 18 年災害時相互応援協定（三郷市・三郷町・安曇野市）

- 平成 6 年 (1994)
 - 8 月 ・三郷村合併 40 周年記念式典において三郷友好都市を代表して木津三郎三郷市長（当時）が祝辞をのべる
 - 10 月 ・三郷村議会が信貴山のどか村を視察

- 平成 7 年 (1995)
 - 10 月 ・スポーツ・レクリエーションなら '95 インディアカ大会に三郷市出場
 - 11 月 ・三郷町自治会役員が三郷村へ来訪

- 平成 8 年 (1996)
 - 7 月 ・災害時相互応援協定締結
 - 11 月 ・3 市町村で三郷友好都市スポーツ交流を開催（以降、恒例となる）

このほかこの年には、友好都市締結 10 周年記念事業（記念植樹、親子交流キャンプ、文化交流）を実施

- 平成 12 年 (2000)
 - 11 月 ・住民ふれあい事業が始まる（以降、毎年テーマを変え、三郷村（安曇野市）で開催、恒例となる）

- 平成 18 年 (2006)
 - 7 月 ・友好都市締結、災害時相互応援協定締結（安曇野市として再締結、協議会名を「三郷・安曇野友好都市交流推進協議会」に改称）

- 平成 23 年 (2011)
 - 5 月 ・「第 25 回三郷・安曇野友好都市交流推進協議会」東日本大震災により書面表決となる
 - 8 月 ・25 周年となる三郷市安曇野市交歓サッカー大会を安曇野市で開催

- 平成 24 年 (2012)
 - 3 月 ・三郷町にリンゴの木 30 本を送り、信貴山のどか村に植樹

- 平成 28 年 (2016)
 - 5 月 ・三郷町制施行 50 周年記念式典に宮澤宗弘安曇野市長、橋渡勝也安曇野市教育長、瀧昭次安曇野市議会議長（当時）が出席
 - 友好都市締結 30 周年記念事業（記念広報発行、図書館に友好都市図書コーナー設置）を実施

- 平成 29 年 (2017)
 - 5 月 ・三郷市制施行 45 周年記念式典に宮澤安曇野市長が出席

- 平成 30 年 (2018)
 - 4 月 ・三郷町童謡の町記念式典に宮澤安曇野市長、橋渡安曇野市教育長、小松洋一郎安曇野市議会議長（当時）が出席

- 令和元年 (2019)
 - 5 月 ・三郷町民生児童委員協議会が来訪

- 令和 2 年 (2020)
 - 5 月 ・「第 34 回三郷・安曇野友好都市交流推進協議会」新型コロナウイルスにより書面表決となる
 - 11 月 ・「住民ふれあい事業」新型コロナウイルスにより中止



平成 8 年友好都市締結 10 周年記念キャンプ



平成 19 年住民ふれあい事業 保健衛生・子育て支援・健康づくり交流



平成 23 年住民ふれあい事業 ソフトバレーボール交流



平成 28 年友好都市締結 30 周年記念



令和元年住民ふれあい事業 ロビーコンサート

神奈川県 真鶴町

真鶴町は神奈川県内で2番目に小さな町で、箱根火山の南東側外輪山麓と相模湾に突き出した小半島から構成されています。

1年を通じて温暖な気候で、古くからリゾート地として多くの文化人に愛されてきました。国内随一の品質と美しさを誇る小松石の産地で、山裾の緩斜面ではみかんの栽培が行われ、真鶴漁港では相模湾の海の幸が水揚げされています。

■自治体データ■



松本 一彦 町長

町長 松本 一彦
教育長 牧岡 努
議長 青木 健
副議長 田中 俊一

人口 7,130人（令和2年10月1日現在）
世帯 3,454世帯（令和2年10月1日現在）
面積 7.05km²
町の花 ハマユウ
町の木 クスノキ



真鶴港

■真鶴町とご縁■

真鶴町と安曇野市との交流は、平成6年に当時の堀金村観光協会が視察研修で真鶴町観光協会を訪れた際に、心温まるおもてなしをいただいたことから交流が始まりました。以来、イベントで特産品販売や、平成7年からは青少年による相互訪問事業を通じて住民交流を行っています。

■調印等の経緯■

- ・平成7年9月15日
友好親善提携（旧堀金村）
- ・平成10年1月28日
災害時相互支援協定（旧堀金村）
- ・平成18年9月30日
友好都市提携及び災害時相互支援協定（安曇野市）

■現在の交流■

- わたつみ・海のまち豊漁豊作祭「岩龍宮祭」
- わたつみ・海のまち豊漁豊作祭「真鶴龍宮祭」
- ・青少年交流
- ・信州安曇野ハーフマラソン
- ・新そばと食の感謝祭

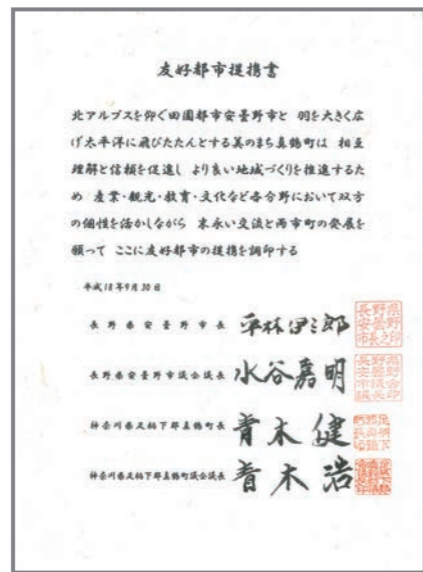


三ツ石

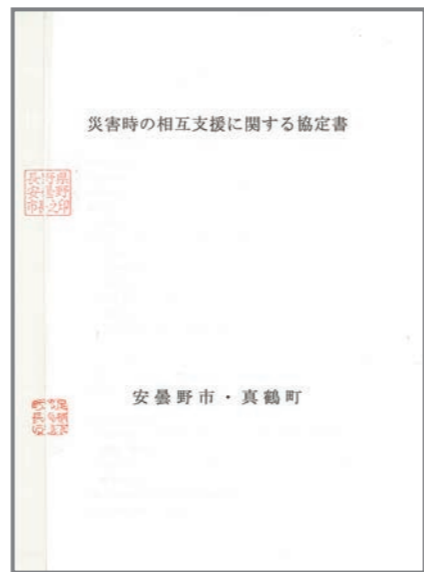
Manazuru Town



平成7年友好親善提携書



平成18年友好都市提携書



平成18年災害時相互支援協定書



平成18年青少年交流 (in 安曇野)



平成22年真鶴商工まつり

- 平成5年 (1993) ・堀金村において山と海のまちの交流について検討
- 平成6年 (1994) 1月 ・堀金村観光協会 (山口文彦堀金村長 (当時) ら11名) が視察研修のため真鶴町観光協会を訪問
このほかこの年には、真鶴町の「春祭り」で堀金村の特産品販売、堀金村の「夏祭り」、「そば・きび餅祭り」で真鶴町の特産品販売
- 平成7年 (1995) 8月 ・初の青少年交流を真鶴町で実施 (隔年で相互訪問を行い、以降恒例となる)
9月 ・友好親善提携調印 (堀金村合併40周年記念式典にて)
- 平成8年 (1996) 2月 ・堀金村の小学生らが真鶴町を訪問し、サッカー交流、町民マラソン大会参加
8月 ・真鶴町ジュニアフットボールクラブの小学生らが堀金村に訪し、サッカー交流
- 平成10年 (1998) 1月 ・災害時相互支援協定締結
10月 ・堀金村老人クラブ連合会が真鶴町を訪問
- 平成17年 (2005) 11月 ・青木健真鶴町長 (当時) が平林伊三郎安曇野市長 (当時) を表敬訪問
・ほりがね特産祭りで真鶴町の特産品販売
- 平成18年 (2006) 9月 ・友好都市提携、災害時相互支援協定締結 (真鶴町町村合併50周年記念式典にて、安曇野市として再締結)
- 平成24年 (2012) 11月 ・真鶴町自治会連合会が視察研修のため来訪
- 平成25年 (2013) 4月 ・宇賀一章真鶴町長 (当時) が宮澤宗弘安曇野市長を表敬訪問
- 平成26年 (2014) 12月 ・安曇野市役所本庁舎の竣工を記念し、「安曇野市役所」の文字が刻まれた本小松石製の銘板の寄贈を受け、市役所東側に設置
- 平成29年 (2017) 11月 ・真鶴町老人クラブが来訪
- 平成30年 (2018) 11月 ・真鶴町の岩囃子保存会が新そばと食の感謝祭にてステージ発表
- 令和元年 (2019) 5月 ・宇賀真鶴町長 (当時) 作の本小松石製一輪挿しを寄贈いただく
- 令和2年 (2020) 夏 ・安曇野市が東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンのため青少年交流の開催を見送る

新型コロナウイルスにより各種事業中止 (5月岩龍宮祭、11月真鶴龍宮祭)



平成7年友好親善提携調印式



平成18年友好都市提携調印式



平成20年青少年交流 (in 安曇野)



平成29年青少年交流 (in 真鶴)



平成24年真鶴町自治会連合会
安曇野市視察



令和元年青少年交流 (in 真鶴)



本庁舎竣工記念で真鶴町から寄贈された
本小松石製の安曇野市役所の銘板



平成25年宇賀町長 (当時) 来訪

千葉県 東金市

東金市は千葉県のほぼ中央に位置し、温暖な気候に恵まれ、平野部は良質な田園地帯が広がり、丘陵地は山武杉の森林に覆われています。

江戸時代、徳川家康の鷹狩りのために「御成街道」が造られたことにより、宿場町と近隣の農産物が集まる問屋街が形成され、以降、物流の集散地としてにぎわうようになり、九十九里地域の中核都市として発展しました。

■自治体データ■



鹿間 陸郎 市長

市長 鹿間 陸郎
副市長 井上 一雄
教育長 飯田 秀一
議長 小倉 治夫
副議長 上野 高志

人口 57,959人（令和2年10月1日現在）
世帯 27,009世帯（令和2年10月1日現在）
面積 89.12km²
市の花 ソメイヨシノ
市の木 ラカンマキ



八鶴湖

■東金市とのご縁■

東金市と安曇野市の交流は、平成7年7月に東金市の小学生が「あづみの探検隊」として青少年体験事業で当時の堀金村を訪れたことから始まりました。以降、毎年夏に「あづみの探検隊」（平成10年から平成23年までは「なつやま探検隊」）が堀金村（安曇野市）を訪れ、「第二のふるさと」として親しまれています。

■調印等の経緯■

- ・平成24年1月30日
災害時相互支援宣言(安曇野市)
- ・平成27年4月5日
友好都市締結(安曇野市)
- ・平成28年10月25日
災害時相互援助協定(安曇野市)

■現在の交流■

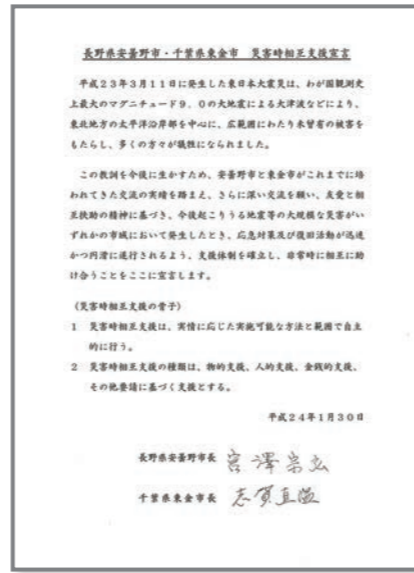
- ・東金桜まつり
- ・青少年交流
- ・東金市産業祭
- ・信州安曇野ハーフマラソン
- ・新そばと食の感謝祭



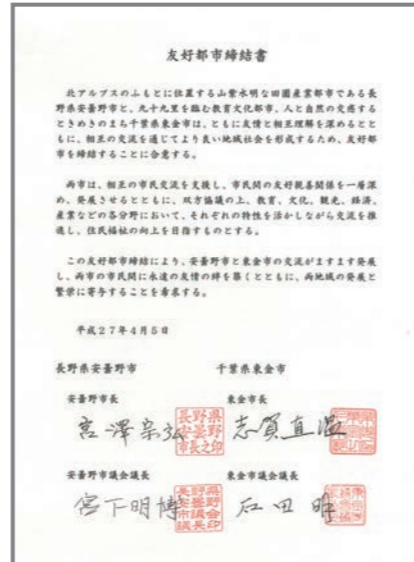
道の駅みのりの郷東金

Togane City

- 平成 7年 7月 (1995) ・東金市の小学生による「あづみの探検隊」が初めて堀金村に來訪（以降、恒例となる）（平成 7～9年及び平成 24年以降は「あづみの探検隊」）
- 平成 10年 夏 (1998) ・「あづみの探検隊」から「なつやま探検隊」と改称し、堀金村（安曇野市）へ來訪（平成 10年～23年まで「なつやま探検隊」）
- 平成 14年 4月 (2002) ・りんごの木オーナー制度が始まり、東金市民もオーナーとなる
- 平成 20年 11月 (2008) ・志賀直温東金市長（当時）から小田多井区の「都市と農村との交流委員会」へ感謝状を授与
- 平成 23年 夏 (2011) ・「なつやま探検隊」 東日本大震災のため中止
- 平成 24年 1月 (2012) ・災害時相互支援宣言に署名
- 4月 ・宮澤宗弘安曇野市長が東金市を訪問、「東金桜まつり」に参加
- 11月 ・東金市区長会連合会が視察研修のため來訪
- 平成 26年 4月 (2014) ・東金市産業交流拠点施設「みのりの郷東金」に安曇野コーナーを開設
- 7月 ・ほりがね物産センター組合が「みのりの郷東金」を視察
- 8月 ・志賀東金市長（当時）が宮澤安曇野市長を表敬訪問
- 10月 ・東金市消防団幹部が安曇野市消防団を訪問
- ・東金市議会運営委員会が安曇野市議会を視察
- 11月 ・東金市制 60周年式典にて東金市・安曇野市「絆」友好の会へ感謝状を授与
- 平成 27年 4月 (2015) ・友好都市締結
- 平成 28年 8月 (2016) ・「あづみの探検隊」 天候不順により中止
- 10月 ・災害時相互援助協定締結
- ・東金市区長会連合会が視察研修のため來訪
- 11月 ・安曇野市小学生が東金市を初訪問、地元小学生らと交流（以降、恒例となる）
- ・東金市・安曇野市「絆」友好の会が友好都市締結を祝い、みのりの郷東金にゴテンザクラを記念植樹
- 平成 30年 8月 (2018) ・鹿間陸郎東金市長らが來訪し、ヤマボウシ（東金市寄贈）を安曇野市役所西側に記念植樹
- 10月 ・東金市区長会連合会が視察研修のため來訪
- 平成 31年 1月 (2019) ・松本山雅 FC が東金市でキャンプを初実施
- 令和元年 9月 (2019) ・9月 8～9日にかけ台風 15号が関東地方に上陸、東金市でも 19日間にわたる停電や 800件以上の住宅被害等甚大な被害が発生
- ・安曇野市からブルーシート等物資を支援
- 10月 ・10月 13～14日の台風 19号、25日の大雨で再び東金市で倒木や道路冠水の被害発生
- ・東金市民生児童委員協議会が來訪
- ・東金国際交流協会が來訪し、農家民泊等の体験
- 11月 ・一連の災害被害に対し、安曇野市から 100万円、安曇野市議会から 21万円の見舞金を東金市へ贈る
- 12月 ・東金市・安曇野市「絆」友好の会友の会が東金市へ災害支援金を贈る
- 令和 2年 夏 (2020) ・安曇野市が東京 2020 オリンピック・パラリンピックのホストタウンのため「あづみの探検隊」、青少年交流の開催を見送る
- 新型コロナウイルスにより各種事業中止（2月東金・九十九里波乗りハーフマラソン、11月東金市産業祭）



平成 24年災害時相互支援宣言



平成 27年友好都市締結書



みのりの郷東金 安曇野コーナー



平成 18年なつやま探検隊



平成 24年東金市区長会連合会來訪



平成 27年あづみの探検隊



平成 24年あづみの探検隊



平成 28年青少年交流 (in 東金)



平成 28年記念植樹 (ゴテンザクラ)



平成 30年記念植樹 (ヤマボウシ)



平成 30年東金市区長会連合会來訪



令和元年青少年交流 (in 東金)



令和元年あづみの探検隊



令和元年台風 15号災害支援

オーストリア共和国 チロル州

クラム ザツハ

クラムザツハはオーストリア西部のチロル州にあり、ウィーンから450 km、ドイツ・ミュンヘンから130 kmに位置します。美しく雄大なアルプスの山々とカウベルの音が谷間に響き渡る豊かな草原が広がり、家々の窓を彩る花々と相まってロマンチックな風景が広がっています。

夏はカヌー・ロッククライミング・ハイキング、冬はスキー・スケート・クロスカントリーなどのアウトドアレジャーが盛んです。

■自治体データ■



ベルンハルト・ツイステラー
町長

町長
ベルンハルト・ツイステラー
副町長
カリン・フリードリッヒ

人口 4,985人(令和2年1月1日現在)
面積 26.9km²



クラムザツハ 湖畔エリア

■クラムザツハとご縁■

クラムザツハと安曇野市の交流は、ガラスが縁で始まりました。昭和60年、当時の豊科町にあづみ野ガラス工房が開設、その翌年、昭和61年にヨーロッパで唯一の国立ガラス専門学校があったクラムザツハを豊科町民の有志が訪問したことがきっかけとなりました。その後、相互の訪問団が行き来する中で平成元年6月に双方の友好団体が友好協定を結び、平成5年10月に自治体同士で姉妹都市提携を結びました。

■調印等の経緯■

- ・平成元年6月18日
友好団体同士による友好協定
- ・平成5年10月25日
姉妹都市提携協定(旧豊科町)
- ・平成19年11月4日
姉妹都市提携協定(安曇野市)

■現在の交流■

- ・相互公式訪問
- ・クリスマスカードのやりとり
- ・友好会による相互訪問



9月最終日曜日に開かれる教会祭 キルヒターク

Kramsach

昭和 61 年 (1986)	2月	・豊科町民有志 23 名が初めてクラムザッハを訪問
	6月	・豊科町民有志 11 名がクラムザッハを訪問
昭和 62 年 (1987)	5月	・ノルベルト・ゲーグル町長（当時）夫妻ら 8 名が来訪
平成 元年 (1989)	6月	・双方の友好団体同士で友好提携調印 これに合わせ、笠原貞行町長（当時）ら 30 名がクラムザッハを訪問
	8月	・クラムザッハへ 2 名の青少年を派遣
	11月	・豊科クラムザッハ友好会発足
平成 2 年 (1990)	6月	・クラムザッハから 2 名の青少年が来訪
平成 4 年 (1992)	1月	・2 名の子供高生をスキー特使としてクラムザッハへ派遣
	6月	・笠原町長（当時）ら 21 名がクラムザッハを訪問 別動でゴルフ場視察に来ていた豊科町総合開発の 14 名と現地で合流
平成 5 年 (1993)	10月	・姉妹都市提携調印 調印のため、エゴン・アウサーホファー町長（当時）ら 11 名が来訪 豊科東小学校校庭にウラジオモミノキを記念植樹
平成 6 年 (1994)	6月	・クラムザッハのガラス専門学校に豊科町から 1 名留学
	9月	・笠原町長（当時）ら 36 名がクラムザッハを公式訪問
平成 7 年 (1995)	1月	・日本料理を学ぶため、クラムザッハから青少年 1 名来訪
平成 8 年 (1996)	3月	・スキー技術研修のため、クラムザッハへ青少年 2 名派遣
	8月	・ゲーグル元町長夫妻が来訪
平成 9 年 (1997)	9月	・水谷太一町長（当時）ら 41 名がクラムザッハを公式訪問
平成 10 年 (1998)	2月	・長野冬季五輪ボブスレーオーストリア代表選手が来訪
	5月	・姉妹都市提携 5 周年記念事業を実施 これに合わせ、アウサーホファー町長（当時）ら 11 名が来訪 南部総合公園にドイツトウヒを記念植樹し、記念碑を建立
平成 11 年 (1999)	8月	・豊科北中学校の生徒 7 名がクラムザッハを訪問
平成 12 年 (2000)	8月	・クラムザッハから青少年ら 6 名が来訪
平成 15 年 (2003)	10月	・姉妹都市提携 10 周年記念式典を開催 これに合わせ、アウサーホファー町長（当時）ら 11 名が来訪 南部総合公園にドイツトウヒを記念植樹 笠原貞行氏が外国人として初めてクラムザッハの名誉町民となり勲章授与
平成 16 年 (2004)	6月	・村上広志町長（当時）ら 45 名がクラムザッハを公式訪問
平成 17 年 (2005)	3月	・クラムザッハへ青少年 4 名を派遣
	8月	・豊科町ジュニア大使として中学生 8 名と随員 3 名がクラムザッハを訪問
平成 18 年 (2006)	8月	・平林伊三郎市長（当時）ら 7 名がクラムザッハを公式訪問
平成 19 年 (2007)	11月	・姉妹都市提携（安曇野市として再締結） 調印のため、マンフレッド・シュテーター町長（当時）ら 16 名が来訪
平成 21 年 (2009)	6月	・平林市長（当時）、市議会議員ら 12 名がクラムザッハを公式訪問 安曇野・クラムザッハ友好会訪問団と現地で合流
平成 22 年 (2010)	8月	・クラムザッハから議員 2 名を含む 12 名の青少年が来訪
平成 24 年 (2012)	3月	・村上広志副市長（当時）を団長とした青少年交流団（高校生 10 名・市商 工会青年部 2 名・随員職員）計 14 名がクラムザッハを訪問
	6月	・宮澤宗弘市長ら 24 名がクラムザッハを公式訪問
平成 27 年 (2015)	5月	・カリン・フリードリッヒ副町長ら 24 名が来訪 市役所本庁舎開庁記念イベントに民族音楽団「ガンガルピヒラー」出演
平成 28 年 (2016)	9月	・宮澤市長、橋渡勝也教育長、濱沼次議長（当時）ら 16 名がクラムザッ ハを公式訪問
令和 元年 (2019)	9月	・宮澤市長、橋渡教育長、小松洋一郎議長（当時）ら 28 名がクラムザッ ハを公式訪問



平成 5 年姉妹都市提携調印



平成 5 年姉妹都市提携記念植樹



平成 15 年姉妹都市提携 10 周年記念式典



平成 15 年姉妹都市提携 10 周年記念交流会



平成 15 年豊科北中学校での交流



平成 5 年姉妹都市提携協定書



平成 19 年姉妹都市提携協定書



平成 19 年姉妹都市提携書署名式



平成 22 年クラムザッハ青少年来訪



平成 24 年公式訪問



平成 24 年青少年交流団訪問



平成 27 年クラムザッハ来訪コンサート



平成 28 年公式訪問



令和 元年公式訪問

長野県 安曇野市

安曇野市は、平成 17 年 10 月 1 日に豊科町、穂高町、三郷村、堀金村、明科町の 5 町村が新設合併して誕生しました。

長野県のほぼ中央に位置し、西部は海拔 3,000 m 級の雄大な北アルプス連峰がそびえたち、中房川・烏川・梓川・高瀬川などが犀川に合流する東部は海拔 500 から 700 m と概ね平坦な複合扇状地となっています。

■自治体データ■



宮澤 宗弘 市長

市長 宮澤 宗弘
副市長 中山 栄樹
教育長 橋渡 勝也
議長 召田 義人
副議長 小松 芳樹

人口 97,297 人 (令和 2 年 10 月 1 日現在)
世帯 40,269 世帯 (令和 2 年 10 月 1 日現在)
面積 331.78km²
市の花 ワサビ
市の木 ケヤキ



長峰山から望む安曇野

■安曇野市の主な行事■

平成 18 ～ 25 年秋 安曇野フェスタ^販
平成 19 年 8 月～ 安曇野花火
平成 21 年 5 月 穂高神社大遷宮祭 友好都市交流会^来
平成 23 年 12 月～ 安曇野神竹灯
平成 26 年 11 月～ 新そばと食の感謝祭^{来・販}
平成 27 年 1 月 新庁舎竣工式^来
平成 27 年 5 月 新庁舎開庁記念イベント^販
平成 27 年 6 月～ 信州安曇野ハーフマラソン^来
平成 27 年 10 月 安曇野市制 10 周年記念友好都市交流会^来

^来：来賓として友好（交流）都市から参加

^販：友好（交流）都市の特産品販売

■調印等の経緯（締結順）■

	合併前の調印等	合併後の調印等
東京都江戸川区	S49. 2. 15 友好都市宣言 (旧穂高町)	H19. 8. 4 友好都市提携
埼玉県三郷市	S59. 9. 22 友好都市締結 (旧三郷村)	H18. 7. 1 友好都市締結
奈良県三郷町	S61. 10. 18 友好都市締結 (旧三郷村)	H18. 7. 1 友好都市締結
東京都武蔵野市	S62. 11. 3 姉妹都市盟約 (旧豊科町)	H19. 2. 5 友好都市提携
クラムザッハ	H 5. 10. 25 姉妹都市提携協定 (旧豊科町)	H19. 11. 4 姉妹都市提携協定
福岡県福岡市東区	H 6. 11. 3 友好交流推進協定 (旧穂高町)	H29. 2. 1 友好交流推進協定
神奈川県真鶴町	H 7. 9. 15 友好親善提携 (旧堀金村)	H18. 9. 30 友好都市提携
千葉県東金市	—	H27. 4. 5 友好都市締結

東京都武蔵野市
東京都江戸川区
福岡県福岡市東区
埼玉県三郷市
奈良県三郷町
神奈川県真鶴町
千葉県東金市
オーストリア共和国クラムザツハ

15th

Anniversary of Azumino City
友好都市と安曇野市のあゆみ

【表紙写真】 ①吉祥寺界限（武蔵野市）②古川親水公園（江戸川区）
③博多どんたく港まつり東区演舞台（東区）④三郷ジャンクション（三郷市）
⑤龍田大社（三郷町）⑥三ツ石（真鶴町）⑦みのりの郷東金（東金市）
⑧フロインズハイム礼拝堂（クラムザツハ）⑨世界かんがい施設遺産拾ヶ堰（安曇野市）

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

安曇野市 政策部
政策経営課 都市交流係
令和2年(2020年)10月発行